

岡山県金融経済月報 (2022年2月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから一部に下押し圧力が強まっており、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要をみると、個人消費は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、高水準となっている。住宅投資は、弱含んでいる。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、増加基調にある。

こうしたなか、県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は弱めの動きがみられるほか、雇用者所得も下押し圧力が強い状態にある。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、感染症の影響などからサービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直しの動きが一服している。乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。家電販売は、弱めの動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、低水準となっている。

設備投資は、高水準となっている。

12月短観調査における2021年度の県内企業の設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっている。

住宅投資は、弱含んでいる。

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、増加基調にある。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

業 種	足もとの生産動向
自 動 車	弱めの動きとなっている。
鉄 鋼	持ち直しつつある。
化 学	高めの水準となっている。
石油・石炭	緩やかに持ち直している。
造 船	低操業となっている。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	高操業となっている。
窯業・土石	高めの水準となっている。
農 機 具	高操業となっている。
工作機械	持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は、引き締まった状態が続いているが、感染症の影響による弱めの動きがみられる。雇用者所得も、感染症による下押し圧力が強い状態にある。

(4) 物価

12月の消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）は、前年並みとなった。

(5) 倒産

12月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

3. 金融（12月分）

県内実質預金は、前年を上回った。県内貸出は、前年を上回った。貸出約定平均金利（総平均）は、新規実行ベースは前月比上昇した一方、ストックベースは前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL086-227-5111(代表)
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るぼると 岡山はこちら!!

